

会 議 録		令和 5 年10月 3 日作成	令和 9 年 3 月末日廃棄
会議名	京都府川端警察署協議会（令和 5 年度第 2 回）		
開催日	令和 5 年 9 月29日（金曜日）		
時 間	午後 2 時55分から午後 4 時25分までの間（90分）		
場 所	京都府川端警察署 講堂、道場（展示）		
出席者	今村会長、今江副会長、太田委員、金丸委員、二之部委員、船木委員、古川委員 計 7 人		
	署長、副署長、警務課長、地域課長、交通課長、警備課長、広聴相談係長 計 7 人		
諮 問 事 項	災害対策について		
会 議 内 容	<p>1 会長挨拶 司会 副会長</p> <p>2 署長挨拶</p> <p>3 協議</p> <p>(1) 諮問事項説明 災害対策について～警備課長</p> <p>【委員】大規模災害で警察署が機能不全になった場合、近くの施設へ機能移転するとの説明があったが、警察署庁舎が壊れるような規模の災害では、移転先の建物も壊れてしまい、機能移転できないのではないか。</p> <p>【警察】当署は、近隣の専門学校と大規模災害時での機能移転についての協定を締結している。この専門学校の校舎は、堅牢な耐震補強工事を済ませており、仮に大規模地震があった場合でも、十分に耐えられる構造になっている。</p> <p>【委員】川端警察署のような小規模警察署では、災害発生時にできることは限られる。警察組織の内部でも役割分担はあるだろうが、署としての任務にはどのようなものがあるのか。</p> <p>【警察】まずは管轄区域内の被害発生状況を把握し、警察本部へ情報集約をする。委員御指摘のとおり、警察部隊のリソースは限られているので、集約された情報をもとに、警察部隊がどこへ行き、どのような活動を</p>		

会 議
内 容

するかを警察本部で決める。

【委員】警察署には出先機関としての交番機能があるが、被害発生時には出先の交番員が被害状況把握を担うのか。その場合、交番員に対して被害状況把握の訓練をしているのか。

【警察】交番員には平素から被害状況把握の着眼点を教養している。また、交番員には映像伝送できる装備品もあるので、それを活用して被害実態を客観的に把握できるような仕組みを構築している。

【委員】災害発生直後での避難は、まずは自助努力、次に隣近所での助け合いとなるが、近所に障害者や高齢者が住んでいれば、自分自身とその人の避難を同時にしなければならず、非常な困難を伴う。

そのような場合にはどうすれば良いか。

【警察】110番通報では災害での要救助情報も集約しているので、基本的には110番通報していただくことになる。しかし、大規模災害の場合には、警察力だけで対応しきれない恐れもあるので、災害時の避難等について、平素から隣近所の方と情報共有しておいてほしい。

【委員】地域の自主防災会の役員をしているが、避難所開設時には自分自身のことは後回しになり、非常に疲労困憊した経験がある。大規模災害の場合、警察も現場で救助活動をするだろうが、自分自身を守ることを大切にしてほしい。

【警察】委員御指摘のとおりで、私自身も他県の大規模災害に救助部隊として派遣されたことがあるが、活動4日目で疲労が蓄積し倒れそうになったことがある。その時の教訓として、幹部が率先して休憩をとり、部隊全体の気力体力を回復させることが重要であると体験した。

守るべき人を守るためにも、不眠不休活動は避けるべきと考えている。

【委員】行政の立場から補足すると、避難所開設は施設管理者に対し事前情報を伝え、準備が整った段階で市から開設情報を広報する。

避難所には最低限の備蓄はあるが、各家庭でも3日分の保存食や飲料水を確保しておくよう啓発している。

障害者等の避難については、どこにどのような方がお住まいかを行政として把握するために、民生委員と協働で、名簿の作成作業を進めている。

このように、行政でも災害に備えた準備を進めており、いざ災害が発生した場合には、警察や消防と連携して対応していきたい。

【委員】災害発生時に、警察がどのような活動をするのかを府民に周知する方法として、パネル展示は最適だと思う。このような展示は他所でもやっているのか。

会 議
内 容

【警察】常設での展示はないが、学区での夏祭り等、多くの人が集まる場所での啓発活動として、パネル展示と説明を行い、災害への備えについて啓発をしている。

【委員】テントはどれくらいの重さか。何人で運ぶのか。

【警察】約 100キログラムはあり、非常に重く、警察官数人で運んでいる。

【警察】エンジンカッター等の警察装備品を御紹介しているが、消防分団でも同じような資機材があるのか。

【委員】同じような資機材は消防分団の倉庫にあり、分団員は男女を問わず、皆が資機材を扱える。

分団では、いつ災害が発生しても資機材が使えるよう、毎月エンジンを始動させ、燃料やオイルが固着しないようにしている。

(2) その他

【委員】丸太町通の岡崎天王町の乱横断が怖い。

近隣の店とホテルの利用客が2車線道路を横断している。

ホテルの客は外国人が多いので、英語の横断幕等、外国人でも分かる乱横断防止対策を講じてほしい。

【警察】関係機関と調整し、道路通行の安全を確保するよう善処する。

【委員】近所の寺院の本堂周辺で、夕方から夜間にかけて少年がたむろし、喫煙する姿を見るようになった。吸い殻等のゴミは片付ければ済むが、本堂は木造建築物であり、火の不始末が心配である。見回りを強化してもらえないか。

【警察】直ちに交番勤務員に見回りを強化するように指示する。

【委員】白川今出川交差南側で、白川通の南行車両が速度を上げて通行し、怖く感じることもある。

特に、今出川通の信号待ちから発進する車両が、次の信号を青で通過するために加速してくるので、なんとかならないか。

【警察】交通課で現状を把握した上で、速度違反取締り等の対策を講じる。

4 事務連絡

令和5年度第3回の警察署協議会は12月上旬の開催予定である。

以上

第2回京都府川端警察署協議会の開催状況

